

## バックアップアライアンス EMC Avamar 導入事例

# 株式会社T&K TOKA 様

重要データを日次ベースでフルバックアップ  
災害時は遠隔地のDRサイトを活用して事業継続性を確保



株式会社T&K TOKA  
情報システム部  
部長  
菊地 和徳 氏

### 導入前の課題

#### 大容量データのバックアップと 災害時の事業継続

高いシェアを占める速乾性のUVインキを始め、各種用途に最適なインキの製造・販売で事業を広げるT&K TOKA様。作業環境の劣化につながるスプレー粉末散布不要の「ベストワンキレイン」など、市場の声に応える新商品の開発に力を入れています。同社では事業拡大とともに取り扱うデータ量が年々増加。サーバやストレージの台数も増えています。中でも主力工場の埼玉事業所は、原材料の配合や購買に関する情報のほか、顧客、決算、債権債務情報など日々の業務に欠くことができない重要なデータを扱っています。重要なデータを

3台のサーバを用いて外部ディスク装置に移した後で、さらに磁気テープにバックアップし、遠隔保管することになりました。

しかし、2011年に東日本大震災を機に見直しを迫られました。「計画停電などで電源がサーバルームに供給されなくなればバックアップシステム自体を起動できず、保管したデータをリストア(復旧)できません。ビジネスの継続が懸念されました」と同社情報システム部部長の菊地和徳氏は述べます。埼玉事業所にUPS(無停電電源装置)や自家発電装置を導入・拡充しましたが、さらに業務機能を代替できるDR(Disaster Recovery)サイトを遠隔地に構築するプランが浮上しました。

### 導入の経緯

#### NECとEMCの 協業体制を生かした提案

かねてより同社のシステム構築を支援してきたNECでは同社の要望をキャッチ。DRサイトを活用した重要データの日次ベースのバックアップ、および災害時に機能を引き継ぐ待機系システムを検討しました。そしてEMCのバックアップアライアンス「Avamar(アバマー)」を活用した提案を行ったのです。T&K TOKA様は全国16カ所に支店・営業所を構えています。その中で地震の発生頻度の少なさ、空路などで万一の際も東京からアクセスしやすい、という地の利を生かし、福岡支店をDRサイトに決定し

ました。NECでは実機を使った検証作業を埼玉事業所と福岡支店の間で実施しました。

「震災などで埼玉や東京のシステムが機能しない状況に陥っても、DRサイト側のシステムを稼働させることができれば、お客様を待たせることなく事業を速やかに再開することができます」と菊地氏は狙いを説明します。

#### 最小限のデータのみを転送する 「Avamar」を選択

Avamarの大きな特長は、Avamarクライアントを導入したプライマリサイト側で冗長なデータセグメントを排除してからバックアップデータを



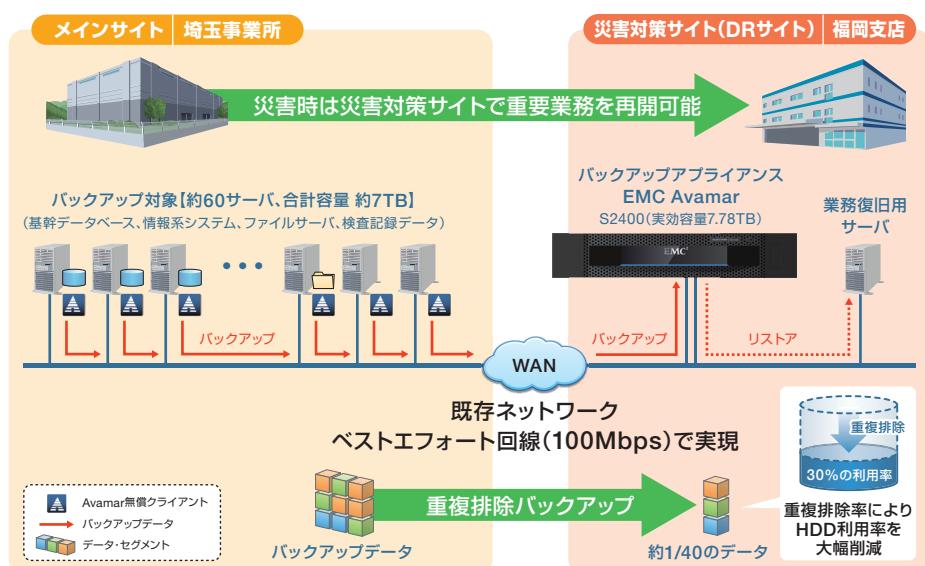
社名：株式会社T&K TOKA  
本社所在地：東京都板橋区泉町20番4号  
創業：1947年  
資本金：20億6,012万円(2012年4月1日現在)  
従業員数：749名(2014年4月1日現在)  
事業内容：各種印刷用インキ及び印刷用・塗料用・接着剤用合成樹脂の製造・販売、印刷関連諸資機材の販売、輸出入貿易  
URL：<http://www.tk-toka.co.jp/>



ネットワーク経由でリモートサイトに設置されたEMC Avamar Data Storeに格納する点です。単なる差分バックアップだけでなく、データの圧縮と重複排除を行うことで既存WAN/アクセス回線を有効利用できる点に大きな特長があります。また、データベースのバックアップでマルチベンダーにも対応していることが、T&K TOKA様のデータベース環境にもフィットしました。

T&K TOKA様では機能のほかに、導入費用、保守等を含む5年間のランニングコスト、ベンダーの力量などを総合的に評価し、採用を決定しました。

### 60台・約7TBのデータを毎日1時間30分で遠隔地にフルバックアップし、災害対策を実現



### 導入後の成果

#### 既存WAN回線を増強することなくフルバックアップ

バックアップ対象となる埼玉事業所のデータは、基幹業務システムで用いられるデータベース、さらに情報系システムに蓄積された各種データ、各部署で共有しているファイルサーバのファイル、電子保存された作業・検査記録データなどほぼすべてが該当します。その容量は約7TB。データを蓄える約60台の業務サーバにはそれぞれAvamarクライアントが動作しており、毎日データの圧縮および重複排除を行った上で、メッシュ構成のWAN(IP-VPN)経由で福岡支店の待機系サーバへ送信します。約60台のAvamarクライアントが同時並行で圧縮、重複排除を行うことで処理時間を短縮しています。バックアップ作業は営業終了後の毎日午前0時30分に開始。約40分の1に凝縮されたデータを

福岡支店に転送するWAN側へのアクセス回線にはベストエフォート型の光回線などを利用していますが、転送時間はわずか十数分。圧縮・重複排除を含む一連のジョブはおおむね1時間半程度、翌朝の業務開始までには完了しています。災害時に切り替わる福岡支店の待機系サーバには、バックアップされた基幹業務データの中でも特に重要な販売、購買、生産、在庫、原価、輸出入、経理に関するデータを順次リストアしています。これにより、埼玉事業所の業務システムが利用できなくなった場合でも福岡支店の待機系を起動し、前日までのデータを利用して業務を再開できる仕組みが整備されました。現在、対象サーバの全てのバックアップが完了したところですが、重複排除率が想定以上に効果を発揮し、利用率は約30%に抑えられており、良好な結果が得られたと菊地氏は述べます。

#### 「T&K TOKAのスタンダード」としてバックアップの標準に

バックアップの処理状況の確認や設定作業は、リモート操作により行えます。担当者は自宅や社外でも隨時確認ができるなど、運用管理が容易になりました。同社は、現在海外にも生産・販売拠点を有しています。内部統制の強化や国際会計基準への対応などグローバルでの標準化が求められています。「データの管理も同様で、国内での経験をもとに『TOKAのスタンダード』を作りたいですね。グループ全体の足並みを揃えたいと考えています」と今後の展望を示しました。さらに「NECは豊富な事例を有していると聞いています。その実績を生かし、当社の企業規模に合った提案を今後もしてほしいですね」と期待を寄せました。

お問い合わせは、下記へ

NEC プラットフォームビジネス本部

〒108-8424 東京都港区芝五丁目33番8号(第一田町ビル)

TEL: 03(3798)9740

お問い合わせURL: <http://jpn.nec.com/emcstorage/contact.html>

製品URL: <http://jpn.nec.com/emcstorage/hw/avamar.html>

●本カタログに記載されている会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。

●このカタログの内容は改良のため予告なしに仕様・デザインを変更することがありますのでご了承ください。

●本製品の輸出(非居住者への役務提供等を含む)に際しては、外国為替及び外国貿易法等、関連する輸出管理法令等をご確認の上、必要な手続きをお取りください。ご不明な場合、または輸出許可等申請手続きにあたり資料等が必要な場合には、お買い上げの販売店またはお近くの弊社営業拠点にご相談ください。